

「インフラ・イノベーション」と「国土強靱化」

○インフラ・イノベーションとは？

インフラ = 下部構造 (国土・都市・地域という地理空間 × 人為)

イノベーション = ある対象を、その表層的に新しくするというよりは、その内部から新しいものにする。

「そもそもイノベーションとは「革新・改革・刷新」と訳されるが、より詳しく言うなら、革新する、改革するという「innovate」の動詞の名詞形であり、かつこの動詞は「in」と「novate」という言葉から構成されている。ここで、novateという言葉は「新しくする」(新しいもの=nove、化する=ate)というもので、inは「内部」という意味である。つまり、ある対象を、その表層的に新しくするというよりは、その内部から新しいものにする、という趣旨である。」

○本来、国土強靱化は、国土そのものを「イノベート」する取り組み。

(= 内部から抜本的に新しくする)

○行政的には、国土強靱化は、「行政の国土強靱化を加速する」仕組み。

- ・「脆弱性評価 → 基本計画の策定 → 財政措置に基づく推進」ループ
- ・行政的には、国土強靱化は「行政の国土強靱化を加速する」仕組み。
- ・その中で「新技術の活用・国土強靱化のイノベーション」が新計画の柱の1つ
 - 国土強靱化のための技術ニーズと、先端技術や既存技術等の技術シーズを適切にマッチングし、そのような技術シーズに係る研究開発の推進が必須。
 - その研究成果を、公共調達などを通じて、少しでも早く現場に社会実装することにより、新技術の活用と国土強靱化のイノベーションを強力に推進することが重要。

・技術イメージ例

通信情報関係	<ul style="list-style-type: none"> ・危機管理型水位計 (国交省開発済み) ・災害時情報通信 (気球・飛行船の活用 (大気圏観測ステーション) 斜面監視等センサー、避難誘導アプリ等) ・SNS 活用 (情報共有・災害対応支援・フェイクニュース対応)
住宅・都市関係	<ul style="list-style-type: none"> ・災害時延焼防止耐火壁 ・仮設住宅等の早期建設技術 ・水の確保 (雨水・海水・地下水活用 (即時・大規模))
警察・消防関係	<ul style="list-style-type: none"> ・沿岸無人潜水機
保健医療・福祉関係	<ul style="list-style-type: none"> ・災害関連死防止技術 ・応急処置ロボット ・トリアージ判断サポート 等